

## 編集後記

みなさま、日本社会医学学会 28 卷 1 号に掲載された質の高い論文をご覧ください。

山本らは、認知症見逃し割合の変化を 6 年間の追跡調査より明らかにすることを目的とし、約 1.3 万人の高齢者を 2001 年から 3 年毎に三回調査した。その結果、認知症見逃し割合が着実に減少しているものの、男性 4.1%、女性 5.8% の見逃しが見られ、QOL を高めるために認知症の早期発見に一層の努力が求められることを報告している。

王らは、中国黒龍江省の高校教員 311 名に対してアンケート調査を行い、中国教員の勤務実態は多忙化が進んでいること、教員の健康実態が深刻な問題を抱えていて、「仕事の量的・質的な負担度」が教員の主なストレス要因であり、「身体愁訴」「抑うつ感」が主なストレスの反応であったことを明らかにしている。

結城らは、脳卒中者における健康行動が、行動結果についての評価や脳卒中罹患の原因帰属によって、どのように影響されるのかを明らかにすることを目的として、71 名の脳卒中者を調査している。その結果、発症後 1 年時点での健康行動実践では、行動継続群、行動強化群、行動脱落群、行動中途開始群、そして行動非実践群の 5 群に分類し、1 年間の健康行動に対する評価をどのようにとらえ、どのような感情が伴うかによって実践の有無が左右されることを明らかにしている。

栗盛らは、茨城県 5 市町村における障害者の割合（加重障害保有割合：WDP）の経年変化により、介護予防事業のアウトカム評価を試み、WDP をアウトカム指標として提案しています。WDP を用いて経年的に介護予防事業のアウトカム評価を行い、介護予防事業の効果検証に役立つことを提案している。

金高聞らは、認知症の人に対する態度尺度と認知症に関する知識尺度を作成するとともに、認知症の人に対する態度に関連する要因を明らかにすることを目的として、大学生 238 名を対象に自記式質問紙を用いて調査し、態度尺度と知識尺度はいずれも妥当性と信頼性を確認している。

近藤らは、中年の公務員集団における健康補助食品使用者の食生活と身体活動に関する特性を明らかにするための職域調査を実施し、2002 年に 35 ～ 59 歳の人からなる自治体職員、男性 951 人と女性 370 人を調査し、この集団に対し性と年齢でマッチングされた対照群を設定し、食生活や身体活動を含む生活習慣特性に関する群間比較を行い、健康志向行動の特性を明確にしている。

吉田らは、介護予防システムを推進する保健師が住民との協働において行なった活動を明らかにすることを目的にして、市町村の保健部門および地域包括支援センターの保健師 8 人に半構造化インタビューを実施して質的分析を行っている。保健師は、住民に介護予防に関する情報を提供し対話をとおして地域の課題や目標を共有し、住民参加を促しながら効果的な介護予防活動を支援し、資源を開拓し、評価を改善につなげシステムを推進させていることを報告している。

志賀は、地域資源の活性化をテーマとする文献を総合的にレビューし、地域資源が限られる地域コミュニティにおいては、支援実践の連携や協働の必要があることを明確にしている。特に、協働の過程では、ソーシャル・キャピタルが示す関係性の強まりは支え合いや福祉コミュニティ形成に影響するものと捉えられことと、地域コミュニティをエンパワメントするには、主体性形成についての共通理解が必要であり、エンパワメントの成果はコミュニティの福祉向上への関心の高まりに表れること、地域コミュニティの凝集性の深化は、支援活動グループ同士の win-win 関係を前提にし、また行政等のかかわりが十分な地域の福祉力を示すとき、地域福祉は推進されることを報告している。

いずれの論文も、人が豊かに生きるためのしくみづくりや支援環境の整備にとって活用できる意義ある論文ではないかと思えます。

多くの皆さまからの多くの投稿に心からの感謝を申し上げます。また、ご多忙中にもかかわらず、査読いただきました先生方には心より感謝いたします。また、全てのプロセスにおいて、宮尾先生には多大なるご支援をいただきました。心より感謝いたします。

今後とも、会員の皆さまから、健康課題を社会医学的に捉えた、意義のある質の高い論文をメールにて投稿されますことを心より期待しています。引き続きよろしくお願ひします。

社会医学研究編集長 星 且二  
star@onyx.dti.ne.jp

ご丁寧に査読いただきました、以下の先生方に、こころより感謝いたします。敬称を省略しますが、以下の先生方です。。

櫻井尚子、神馬 征峰、黒田研二、服部 真、小澤 温、山本千紗子、天笠 崇、嶋村 清志

社会医学研究 第28卷1号 2011年 3月31日発行

日本社会医学会機関誌 社会医学研究 Bulletin of Social Medicine ISSN 0910-9919

理事長 山田裕一 金沢医科大学 u1yamada@kanazawa-med.ac.jp

発行者 山田裕一

編集 星 且二 編集委員長(首都大学東京) star@onyx.dti.ne.jp

発行事務局

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学情報科学研究科

宮尾克研究室内 日本社会医学会事務局

TEL/FAX 052-789-4363 miyao@nagoya-u.jp